

## 第8回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問1	4	花座	仙台市青葉区一番町に開設され、正式名称は「魅知国定席(みちのくじょうせき) 花座」です。江戸落語・上方落語・東北弁落語も楽しめます。平成30年4月1日は、開場記念として、名誉館長の歌丸師匠が高座に上がりました。
問2	1	作並温泉	平成25年に恋人の聖地に認定されました。平成26年に「恋のお湯かけ地蔵」が設置され、お湯かけ小瓶に入れた温泉を地蔵様にかけると恋が成就すると言われています。
問3	2	岩出山凍り豆腐	明治期の記録にも残る地域の伝統産業で、独自の製法により雑味が少なく、大豆の風味が豊かで、弾力に富んだ硬めの歯触りと滑らかな舌触りが特徴です。
問4	3	さんさん館	「さんさん館」は、かつての志津川町立林際小学校の木造校舎を利用した、宿泊しながら農業や林業を体験する施設です。
問5	3	大阪夏の陣、道明寺の戦い	鬼小十郎まつりのメインイベント「片倉軍VS真田軍決戦・大阪夏の陣～道明寺の戦い～」は、白石城主二代目片倉小十郎重長の大阪夏の陣における活躍を合戦シーンなどで再現しています。
問6	3	グルテン	小麦粉のたんぱく質成分のグルテンを、油で揚げて作ったあげ麩です。
問7	4	慈覚大師	円仁は第三代天台座主で、入唐八家の一人。慈覚大師とも言います。伝教大師最澄に師事し、関東以北には慈覚大師円仁が開祖(または復興)した寺院が数多くあります。没後、その死を悼んだ清和天皇から、師最澄(伝教大師)とともに、日本で初めての大師号が贈られました。
問8	3	松島町	童謡「どんぐりころころ」にちなんだキャラクターで、名前は「どんぐり松ちゃん」です。松島町出身の青木存義(ながよし)が、文部省在職中に松島で過ごした幼い日を想い、童謡「どんぐりころころ」を作詞しました。
問9	2	カタール	水産の町として知られる女川町。震災により基幹産業である水産業は甚大な被害を受けました。カタール国からの援助により建設された冷凍冷蔵施設は、カタール国の伝統的な漁法にちなんで「マスカー」と命名されました。
問10	1	一迫のゆり	全国各地の風景や観光名所には、何かしら香りがあると言われ、「南くりこま高原一迫ゆり園」は、約200品種、15万球のユリが植えられ、優雅な甘い香りを楽しむことができます。
問11	2	白石城	奥羽列藩会議は、仙台藩などの呼びかけで、慶応4年(1868年)閏4月11日に奥羽の14藩が集まり、白石城で開かれました。
問12	3	角田市	角田市の仙南シンケンファクトリーのヴァイツェンは、インターナショナル・ビア・コンペティションで、平成26年から5年連続で受賞しました。
問13	2	ばばば	驚きの程度により「ば！」の数が変わります。気仙沼には、思わず「ばばば！」と言ってしまう魅力がいっぱいです。
問14	3	ガザミ	ワタリガニとも呼ばれ、沿岸の浅海を回遊します。4～6月が産卵期で、生まれてから脱皮を繰り返して、約4ヶ月で漁獲サイズの13cmになります。

問15	4	仙台マーボー焼そば	焼そばの上に麻婆の餡をかけた料理。平成25年3月にテレビの「秘密のケンミンSHOW」で紹介され、「宮城県中華飲食生活衛生同業組合」が商標登録して、新しい名物料理となりました。
問16	4	蔵王町	疣岩円形分水工は、2つのかんがい用水路へ分配するための施設で、昭和6年に竣工しました。地域の方同士の丁寧な事前協議があったため、水争いをすることなく、水分配もまるく収まった貴重な土木遺産です。
問17	3	勝画楼	勝画楼は、塩竈神社を管理する別当寺として、江戸時代まで栄えた法蓮寺の旧所書院として建てられています。老朽化により解体する方向でしたが、2017年、市が無償で譲り受け保存する方向となりました。明治9年6月の明治天皇の東北巡幸の際、行在所となりました。名前の由来は、「画にも勝る楼」の意を持って、仙台藩5代藩主伊達吉村が命名したと言われています。
問18	4	宮城マックス	宮城マックスは、仙台を本拠地としています。2020年東京パラリンピックでの活躍も期待されている選手も多くいる、車いすバスケットボールの強豪チームです。
問19	1	気仙沼港	平成29年度はサンマが不漁で、地元気仙沼の「さんま祭り」は中止になりましたが、「目黒のさんま」だけはと奔走し、気仙沼産の冷凍サンマ5,000尾を用意しました。平成30年度も気仙沼から新鮮なサンマ5,000尾と、角田からひとめぼれの新米が提供されました。
問20	2	鳴瀬川	大崎耕土の水や農業の豊かな恵みを一目で伝えるものを作成。平成30年5月20日に開催された世界農業遺産推進フォーラムでデザインを発表。用水路や江合川、鳴瀬川、ため池などをイメージしました。
問21	2	宮城県農業高校	宮城県農業高校は、明治18年(1885年)に仙台市長町に宮城農学校として開校した日本でも歴史のある農業高校のひとつです。その後、昭和52年(1977年)に名取市沿岸部に移転、東日本大震災で被災後、名取市高館の宮城県農業園芸総合研究所地内の仮設校舎で学んでいましたが、平成30年4月から名取市高館吉田地内の新校舎で授業が開始されました。
問22	1	28万石	戊辰戦争で敗れ賊軍となった仙台藩は、禄高を62万石から28万石に減らされ、領地は仙台の周辺に限定されました。他の領地は、亶理郡など県南4郡は盛岡藩、遠田・登米は土浦藩、栗原は宇都宮藩、本吉・桃生・牡鹿は高崎藩、江刺・気仙は上田藩、岩手3郡は沼田藩の支配地となりました。
問23	2	大伴 家持	湧谷町にある黄金山神社に、この歌の石碑が建てられています。最北の万葉石碑として、天皇の御代をたたえ、産金を祝う歌が刻まれています。
問24	4	荒浜小学校(仙台市)	気仙沼向洋高等学校は平成30年度末に開館予定、旧中浜小学校と旧門脇小学校は平成31年度末に整備完了予定、荒浜小学校は震災遺構として公開されています。
問25	2	奥松島	「オルレ」は韓国・濟州島の言葉で「家に帰る細い道」を意味し、韓国では地域の自然、歴史、文化を楽しみながら歩くトレッキングのことを言います。
問26	4	緑の風	昭和52年、市制施行88周年記念事業として始まりました。街の緑の空間に彫刻を配置し、芸術性豊かな街づくりを推進しました。緑の風は佐藤忠良さんの作品で、台原森林公園にあります。

問27	2	《宮城郡》 利府町 七ヶ浜町	丸森町は伊具郡、大衡村は黒川郡、村田町は柴田郡です。
問28	3	布袋	村田町で体育の日の前日に行われる「布袋まつり」では、背丈が2メートルもある布袋人形が、笛太鼓のお囃子に合わせて山車の上で舞います。
問29	3	原田 甲斐	伊達騒動の中で、刃傷事件を起こし処罰された原田甲斐一族屋敷で唯一残された門を、当時の住職が供養と悪を善に転じることを願い、荘厳寺に逆さに移築されたと伝えられているものです。
問30	1	②→④→③→①	尿前の関は鳴子、笠島は名取、瑞巖寺は松島、壺の碑は多賀城です。
問31	1	角田市	栽培を始めた頃から、有機質肥料を豊富に使用し、「土づくり」を大切にきており、通常よりも樹上で熟度を上げてから収穫するので、糖度も増して美味しい梨が出荷されています。
問32	1	山の駅くりこま	栗駒地区をはじめ、栗原市内の様々な特産品が一堂に会する直売施設です。栗駒山を訪れる際はもちろん、栗駒岩ヶ崎のまちなかを散策する際の拠点としてもぜひお立ち寄りください。
問33	3	安波山	安波山は、気仙沼のシンボルと言える山です。山頂にある安波山公園には、二頭の龍のオブジェがあります。気仙沼湾から大島まで見渡せます。
問34	1	サンオーレそではま	サンオーレそではま海水浴場は、汀線300メートルの人工砂浜が美しく、波も穏やかで、海の家や無料のシャワーも備えています。
問35	3	サバだしラーメン	石巻市飯野川地区に伝わる、料理にサバだしを使う食文化にちなんで作られたのがサバだしラーメンで、風味豊かなあっさり系のスープが特徴です。現在では、主に飯野川地区の飲食店で食べることができ、家庭用向け商品としても販売が開始されました。
問36	—	巨釜半造	巨釜半造は、三陸復興国立公園を代表する景勝地です。
問37	—	そばだんご	栗原市のそばだんごは、栗駒山麓で栽培された「そば」の粉を使い、醤油ベースのスープに山菜やキノコなどを入れた料理です。
問38	—	三居沢	明治21年にできた水力発電所で、平成11年に国の登録有形文化財になっています。100周年を記念し、「三居沢電気百年館」が完成しました。
問39	—	瑞鳳寺	政宗の霊廟瑞鳳殿に行く坂を登ると、道路左側の瑞鳳寺の墓地の中に鹿児島県人と刻まれた七つの墓が並んでいます。西南戦争終結後、懲役刑の確定した約2,700余人が、北海道を除く全国の監獄署に分散して護送されました。県内には、305名の国事犯が収容されました。
問40	—	川渡	川渡温泉は、昔から「脚気川渡」と言われる1,000年来の湯治の里で、9軒の宿があります。
問41	—	すまる	この豪邸は、渡辺家が白石市に寄贈した建物で、元々は紙問屋(白石和紙)、太物屋、雑貨販売、味噌醤油醸造、不動産業などを営んでおり、商標として丸に壽の屋号を使っていました。

問42	—	古川八百屋市	古川八百屋市の歴史は古く、約400年前の戦国時代末期までさかのぼります。開設当時、3と7のつく日に市を開催していましたが、常設店舗が増え、市内の三日町、七日町になったとされています。明治時代に現在の場所に移転しましたが、農産物、山野草、加工品や竹細工、水産物など多様な産物が今でも売られています。
問43	—	金華山	金華山灯台は、スコットランド人のリチャード・ブラントンが設計し、明治9年(1876年)の11月1日に運用が開始された白い石造りの灯台です。1945年にアメリカ軍の爆撃を受け破壊されましたが、翌年には復旧し、太平洋航路の重要な灯台となっています。ちなみに、11月1日は灯台記念日です。
問44	—	山元町	山元町の八重垣神社は、旧暦6月15日に神輿が神社から海岸に渡御し、特殊な御幣を海に流した後、神輿が担ぎ手と共に海水で禊ぎをする祭りを続けてきました。震災で2年間中断しましたが、神輿ががれきの中から発見され、祭りが再開されました。
問45	—	パプリカ	パプリカは、南米原産の唐辛子がヨーロッパに渡り品種改良されたヨーロッパでポピュラーな野菜です。平成26年度の宮城県のパプリカの出荷量は1,001ト、主な産地は、栗原市、大衡村、石巻市、登米市などです。
問46	—	登米市	三陸復興国立公園のうち、県内では、リアス海岸及び海上に浮かぶ多くの島からなる優美な海岸景観と、田東山や横山不動尊など、寺社仏閣に護られた原生的な森林景観として指定されています。
問47	—	金のいぶき	羽生選手には、県産米の「だて正夢」と「金のいぶき」4年分贈呈されました。金のいぶきは、胚芽が大きく、やわらかく、食べやすい玄米です。
問48	—	仙石東北ライン	平成27年5月から仙台駅と石巻駅間(平成28年8月から女川駅まで延長)での運行を開始しています。仙台駅から松島駅が東北本線、松島駅から高城町駅までが接続線、高城町駅から石巻駅までが仙石線、石巻駅から女川駅が石巻線という、複数の路線を1つのラインでつなげて運行しています。
問49	—	ねぐら	国内に飛来する8割のマガンが、県内に飛来すると言われています。朝方、日の出と共に千羽単位で飛び立つ姿は圧巻で、見る者の目を奪います。夕方、きれいなV字で隊列を組みながら、「ねぐら」である沼に戻ってくる姿も趣があり、バードウォッチングとして人気があります。
問50		巾着 投網	毎年8月6日から8日まで行われる仙台七夕まつりでは、本物の竹と和紙で商店街など各所が豪華に飾られます。仙台七夕の笹飾りには、7種類の飾りがつけられます。7種類の飾りとは、折鶴、巾着、吹き流し、短冊、投網、屑籠、紙衣です。巾着は節約、貯蓄の心を養うことから商売繁盛、投網は豊漁・豊作を願って飾られています。